

見えないチカラとキセキ

浦田理恵
竹内由美

P.66~73



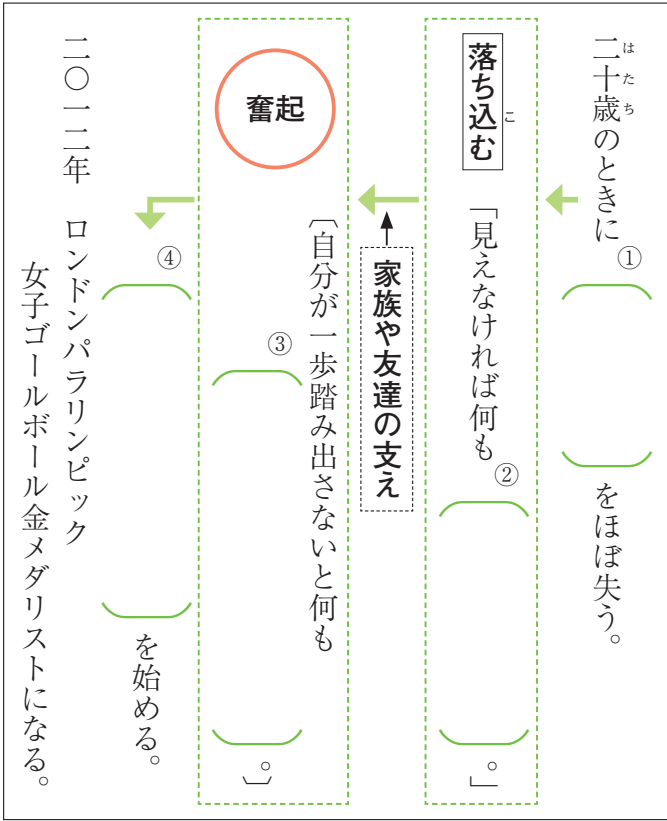
- 講演者の話す内容を意味段落ごとに捉え、そのときの心の動きを想像しよう。
- 講演者の行動や気持ちからその人柄を捉えよう。

読解

ステップ1

内容を整理しよう

- 浦田理恵さんについてまとめます。
ことばを教科書から抜き出そう。



2

浦田さんの講演の内容をまとめます。それぞれの意味段落の内容をあとから選ぼう。

- ① 教 67 ページ 5 行め〜 68 ページ 3 行め
- ② 教 68 ページ 4 行め〜 69 ページ 5 行め
- ③ 教 69 ページ 6 行め〜 70 ページ 14 行め
- ④ 教 70 ページ 15 行め〜 72 ページ 終わり

Four empty brackets for notes corresponding to the list items above.

- ア ゴールボールをやめなかった理由〜心のスイッチ
イ 浦田さんとゴールボールの出会い
ウ コート練習での苦悩と先輩の支え
エ 体力作りから始まった競技人生

ステップ2 内容を読み取る

【前書き】 浦田理恵さんについて (教66ページ初め～67ページ4行め)

◆ この文章は浦田さんの講演をもとにして、竹内さんが書いたものですが、読み手のことを考えたどのような工夫がされていますか。□にあてはまることばを書こう。

・あえて「 (浦田理恵) は〜」という表現方法を使って、浦田さんの講演を聞いているかのように感じさせている。

【1】 ゴールボールとの出会い (教67ページ5行め～68ページ3行め)

◆ 浦田さんが、ゴールボールをやるうと思っただきっかけになったできごとは何ですか。適切なものを次の中から選ぼう。

- ア 鍼灸・マツサージの学校に通ったこと。
- イ アテネパラリンピックのゴールボール三位決定戦を観戦したこと。
- ウ ジャパンチームのヘッドコーチのところに行ったこと。
- エ ルームランナーを使って歩く練習を開始したこと。

【2】 競技人生のスタート (教68ページ4行め～69ページ5行め)

◆ 浦田さんが自分の競技人生を「普通の人よりもはるか下のレベルからのスタート」(教69ページ5行め)と言ったのはなぜですか。□□の字数であてはまることばを教科書から抜き出そう。

①
の練習ではなく

② と③ と

いう基本から始まったから。

読み取りのヒント

【前書き】

◆ 文章を読んでいるのに、浦田さんの講演会場にいるかのように感じさせる工夫が何かを考えよう。

【1】

◆ このできごとに衝撃を受けたから、浦田さんはゴールボールをやるうと思っただね。

【2】

◆ 浦田さんがゴールボールを「やってみたくて」と江黒先生の元へ行ったとき、先生の第一声は「きみ、体力なさそうやね。」だったよ。浦田さんは、体力作りから始めなくてはいけなかったんだ。

【3】コート練習での苦悩（教69ページ6行め〜70ページ14行め）

◆ 浦田さんがディフェンス姿勢について、わからないことだらけで諦めそうになったとき、小宮正江選手はどのようにしてその姿勢を教えてくださいましたか。教科書のことばを使って書こう。

【4】心のスイッチ（教70ページ15行め〜72ページ終わり）

1 浦田さんがこれまでゴールボールをやめなかったのは、仲間やコーチがどのような態度で接してくれていたからですか。適切でないものを次の中から選ぼう。

- ア いいところも悪いところも見えてくれた。
- イ ミスを恐れないようにと励ましてくれた。
- ウ 同じミスを何度してもいいと言ってくれた。
- エ 隣で歯を食いしばって練習してくれた。

2 「私の心のスイッチが入りました。」（教72ページ17行め）とは、どんなことを表していますか。□□にあてはまることばを教科書から抜き出そう。

- ・ 浦田さんの気持ちちが、

①

① ことを言いわけにして逃げる

気持ちちから、ゴールボールで

②

② を目指したいという気持ちに変化した

気持ち。

読み取りのヒント

◆ 小宮選手は自分の体を張って教えてくださいましたよ。

【4】

1 コーチと仲間のそれぞれの発言や行動をまとめてみよう。

2 日常生活の中では、スイッチが入れると、電気がついたり、機械が動いたりするね。浦田さんは、ゴールボールを本気でがんばろうという気持ちが入ってきたことを、「スイッチが入りました」とたとえているよ。

浦田さんの、後ろ向きな気持ちから前向きな気持ちへの変化を読み取ろう。



